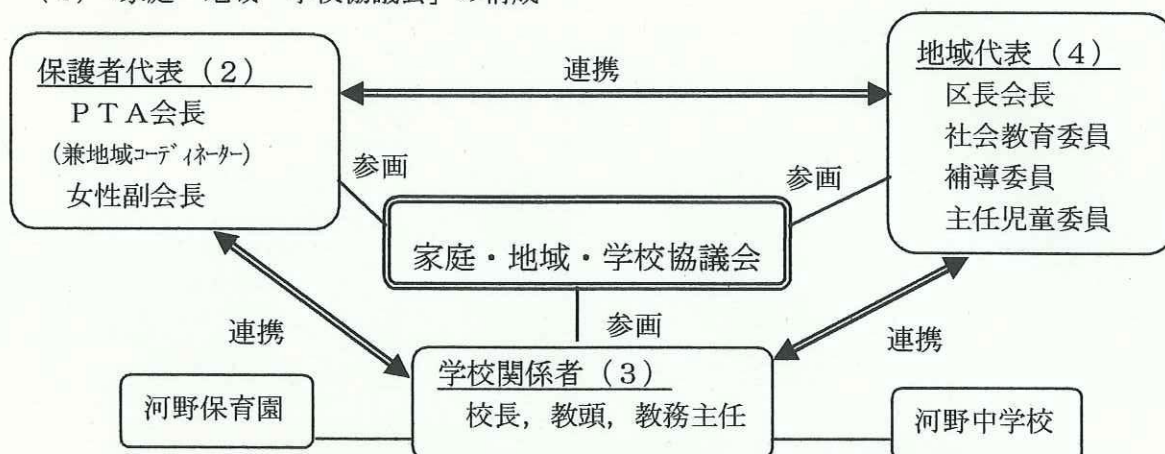


令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

南越前町立河野小学校

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



地域コーディネーター（2名）…学校行事等に携わっている各ボランティアの代表者

(2) 協議会の内容

第1回（6月28日）趣旨説明・活動方針・学校への要望（小中合同で実施）

第2回（10月26日）教育目標の進捗状況・学校行事の参観・意見交換

第3回（2月21日）1年間を振り返って・学校評価の報告・次年度への課題（小中合同で実施）

(3) 協議会における成果と課題

地域の良さや地域に伝わる歴史・伝統を継承するために、地域を巻き込んだ学習を進めてほしいとの要望を受け、実践を進めた。今後、総合的な学習の時間等の活用について検討が必要である。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

地域の方と学校が協力して、問題解決型の体験学習をすることで、ふるさと福井に誇りと愛着を持つ子どもを育成する。

(2) 主な活動計画

① 「だしじゃこづくり」 3・4年生（6月～7月）

地域でとれるカタクチイワシ等を使ってだしじゃこづくりを行った。できあがっただしじゃこを、地場産直売所で販売し、地域のPR活動に活かすことができた。

② 踊り「糠どっさり」 5・6年生（9月～10月）

地域に伝わる「糠どっさり」についてその歴史的な背景を学習し、現在活躍している糠どっさり保存会の方に踊りを教えてもらった。その後、練習を継続し、全員が踊れるようになった。

(3) 地域コーディネーターの活動概要

地域コーディネーターには、活動の内容や趣旨を話し、協力してもらえる方を紹介していただき、一緒に企画に参画してもらった。

(4) 特に工夫した事項

- ・家庭・地域・学校協議会委員を学校行事等に招待して、学校教育目標具現化の進捗状況について知ってもらった。
- ・ふるさとに愛着が持てる子を育てるため、校外活動を充実させ、地域の人から水産業の話や伝統文化を直接聞くなどして、地域の人との触れ合いを大切にしたい。
- ・地域と学校が協働し、地域の特色ある教育資源を活用した体験学習を行った。

(5) 成果と課題

だしじゃこづくりや糠どっさりで学習したことをしおかせ集会で発表し、他の学年の児童、地域や保護者に発表することで、情報を共有することができた。今後は、地域の人的物的資源をさらに発掘し、どう教材として活かしていけるかを考えることが必要である。

